

ふふ奈良のホテルの庭園

旧 山口吉郎兵衛氏の南都別邸庭園

ゆう が やま  
瑜伽山園地

の大きな問題点

奈良公園内に昨年オープンした隈研吾設計の高級ホテル『ふふ奈良』ですが、当時大阪財界で活躍した山口吉郎兵衛氏の南都別邸庭園を、このホテルが借用しています。庭園は奈良県の管理下にあるようです。しかし、世界的に超有名な隈研吾設計の高級ホテルの庭園にふさわしくない点が2つありますので、以下にお知らせします。

その①：池の水が溜まり水で、濁っていて水面には白っぽい膜が張っており、とても見苦しいです。川の水を引くとか、井戸水を汲み上げて流すとか、この溜まり水を引き込んで浄化して戻すとか、やり方はいくらでもあり、いずれもとても簡単なことです。そしてきれいな水にして、鯉を泳がすとかすれば完璧です。とにかく今のままでは、ただの安っぽい・きたない水たまりで、隈研吾設計の高級ホテルの庭園としては失格です。

その②：ホテルの建物のすぐ下(北側)に細い遊歩道がありますが、それに沿ったホテル側に人の背丈くらいの低い植木が並木のように植え

てありますが、その大半が枯れてしまっていて、無残な姿をさらしていますが、そのまま放置されていて、高級ホテルの庭園には全くふさわしくありません。そのまま放置せずに抜き去るべきです。そして新しい元気な木を植えるべきです。昨年オープンしたばかりのホテルなのに、なぜこんなことになっているのか。ホテルは民間会社、庭園は奈良県の管理下なのでうまく全体の統制が取れていないのか。管轄の奈良県の公園事務所へ電話して改善するように言っても、のらりくらりの応答でらちがあきません。まさにお役所仕事です。こんな状態で高級ホテルと言えますか。『奈良にはろくなホテルがない！』と以前から言い続けられてきた解決策の一つがこのホテルですが、『やはり奈良や！』と伝統の奈良になります。古い歴史のある都市は、伝統を守るのが重要なのか。

上記の①と②は、2021年2月10日現在の状態のことです。いつになったら改善されることやら。今年度の予算はないので来年度にとか……いかなる事情があるにせよ、こんな簡単なことはすぐにやるべきである。

このホテルや問題の庭園の紹介は、後日に別途詳しくやります。すでに複数回行って写真撮影や取材はしてあります。

今回の私からの電話での上記の問題点の指摘に対して、奈良公園事務所の責任者らしき人の応答が悪い。たとえば『ご指摘ありがとうございます。なるべく早く改善します。』のような返事であれば何ら問題なく、ごく普通であり、スムーズに電話終了となります。ところが今回の言い方は、そうではなく、『こちらにも考えがある。』のような雰囲気のことを高姿勢で言い、ホテル宿泊客がレストランへ行く時に汚い池を毎回見て通ることになるなどの問題点の放置に関しての重大さを認識していないようで話が咬み合わず、ついには口論のようなことになってしまい、これではいくら話してもダメだと思い、電話を切りました。今後は奈良県奈良公園事務所が関係することにおける問題点をどんどん見つけて公表していきますので、皆さん時々チェックして見て下さい。

上記の問題点の証拠写真展のmy HP原稿に続く